

zoom-zoom  
zoom-zoom



# マツダ 会社概況 2011

MAZDA COMPANY PROFILE 2011

## 目次 Contents

- 1 はじめに
- 3 会社の概要と実績
- 5 役員
- 6 主な子会社・関連会社
- 7 研究開発
- 地域別の活動
- 8 日本
- 10 北米
- 11 欧州
- 13 中国
- 14 アジア・大洋州
- 15 カリブ・中南米・中近東・アフリカ
- 16 フォードとの関係
- 17 社歴
- 21 製品一覧

# はじめに

## 企業ビジョン（1999年12月制定）

マツダは1999年、「企業ビジョン」を制定しました。「企業ビジョン」は、「Vision（企業目標）」、「Mission（役割と責任）」、「Value（マツダが生み出す価値）」の3つの要素で構成され、マツダとマツダの社員が目指すもの、その役割と責任、それをどのような価値観をもって達成するのかを表しています。

### Vision

新しい価値を創造し、最高のクルマとサービスにより、お客様に喜びと感動を与え続けます。

### Mission

私たちは情熱と誇りとスピードを持ち、積極的にお客様の声を聞き、期待を上回る創意に富んだ商品とサービスを提供します。

### Value

私たちは誠実さ、顧客志向、創造力、効率的で迅速な行動を大切にし、意欲的な社員とチームワークを尊重します。  
環境と安全と社会に対して積極的に取り組みます。そしてマツダにつながる人々に大きな喜びを提供します。

## マツダブランドシンボル（1997年6月制定）

「自らをたゆまず改革し続けることによって、力強く、とどまることなく発展していく」というブランドシンボル制定のマツダの決意を、未来に向けて羽ばたくMAZDAの＜M＞の形に象徴しています。

## マツダコーポレートマーク（1975年制定）

1975年のCI（Corporate Identity：コーポレート・アイデンティティ）導入を機に、コミュニケーションの核となる企業シンボル（マツダシンボル）として制定しました。その後、1997年のブランドシンボル制定に伴い、可読性を生かした「マツダコーポレートマーク」と位置づけています。



## 「マツダ」の由来と意味

社名「マツダ」は、西アジアでの人類文明発祥とともに誕生した神、アフラ・マズダー（Ahura Mazda）に由来します。この叡智・理性・調和の神を、東西文明の源泉的シンボルかつ自動車文明の始原的シンボルとして捉え、世界平和を希求し自動車産業の光明となることを願って名付けられました。それはまた、自動車事業を始めた松田重次郎（じゅうじろう）の姓にもちなんでいます。

## マツダのブランドメッセージ “Zoom-Zoom（ズーム・ズーム）”\*”

\*日本語の「ブーブー」（車が動くときの音）を意味する英語

マツダ独自の創造性と革新性で、子どもの時に感じた動くことへの感動を愛し持ち続ける人々に、「心がときめくドライビング体験」を提供したいというマツダの想いを示した言葉です。

## デザインテーマ “魂動（こどう）－Soul of Motion”

マツダはこれまで、さまざまな「動き」のある造形を模索してきました。その模索の中でマツダデザインがたどり着いたのは、生物が見せる一瞬の動きの強さや美しさです。この一瞬の動きをMotion Formの究極の姿として見だし、その生命感あふれる動き、心ときめかせる動きを“魂動（こどう）”と定義しました。そして、この“魂動（こどう）- Soul of Motion”というデザインテーマのもと、“動き”の表現を深化させていきます。



コンセプトカー「マツダ 靱（SHINARI）」（左）と「マツダ 勢（MINAGI）」（右）

## MAZDA SKYACTIV TECHNOLOGY

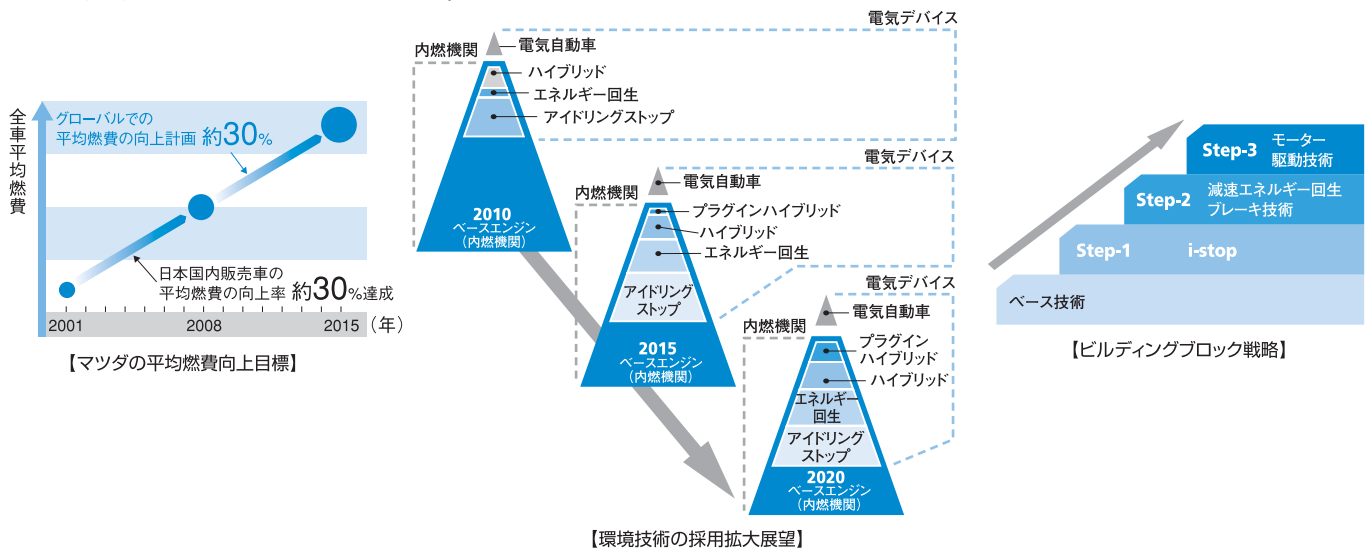
「SKYACTIV」は、サステナブル“Zoom-Zoom”宣言に基づいて、「走る歓び」と「優れた環境・安全性能」の高次元での両立をイメージした革新的な次世代技術の総称です。「SKYACTIV」は「ビルディングブロック戦略」に沿って展開される技術のすべてを包含しています。

### 「サステナブル “Zoom-Zoom” 宣言」 —未来に向かう長期ビジョン—

2007年3月、マツダは技術開発の長期ビジョン「サステナブル“Zoom-Zoom”宣言」を策定しました。これは、「いつまでも『ワクワク』するクルマ、『見て乗りたくなる、乗って楽しくなる、そしてまた乗りたくなる』クルマを提供し、クルマも、人も、地球も、みんながワクワクし続けられる、サステナブルな未来の実現に向けてマツダが取り組むこと」を宣言したものです。それに基づき、マツダは、2015年までにグローバルで販売するマツダ車の平均燃費を、2008年比で30%向上させる計画を発表しています。

### 「ビルディングブロック戦略」 —普及してこそその貢献—

近年、ハイブリッド車や電気自動車など、新しい電気デバイスを搭載した自動車が登場し、自動車の性能は、エンジン、トランスミッション、ボディ、シャシーなどと、電気デバイスとの総合力で語られる時代になりました。しかし、2020年においても、自動車のパワートレインに占める内燃機関の割合は大きいと予測されています。そこでマツダは、自動車の基本性能である「ベース技術」を優先的に改良した上で、段階的に減速エネルギー回生システムやハイブリッドシステムなどの電気デバイスを導入する「ビルディングブロック戦略」を採用しました。これは、一部の環境対応車に大きく依存することなく、すべてのお客様に、「走る歓び」と「優れた環境・安全性能」をお届けすることで、効果的にCO<sub>2</sub>の総排出量を削減するアプローチです。



#### ■SKYACTIV-G

高圧縮比エンジンの課題であったノッキング（異常燃焼）を克服し、世界一の高圧縮比を実現した新世代高効率直噴ガソリンエンジン。



#### ■SKYACTIV-D

世界一の低圧縮比を採用することで、尿素触媒やLNT（Lean Nox Trap）等の高価なNOx後処理システム無しで各国の厳しい排出ガス規制に適合できるクリーンで高効率なディーゼルエンジンを実現。



#### ■SKYACTIV-Drive

燃費の良さ、ダイレクト感、シフトクオリティを徹底追求し、あらゆるタイプのトランスミッションの利点を集約した、フルレンジロックアップAT。



#### ■SKYACTIV-MT

ロードスターのような軽快で節度感のあるシフトフィールを軽量・コンパクトなFF用MTで実現。

#### ■SKYACTIV ボディ

「走る歓び」を支える高い剛性と、最高レベルの衝突安全性を実現した軽量ボディ。



#### ■SKYACTIV シャシー

ロードスター並みの「人馬一体」感を追求し、「走る歓び」を実現すると同時に快適性、安心感を高めた軽量シャシー。

# 会社の概要と実績

## 会社概要

(2011年3月31日現在)

社 名	マツダ株式会社 (英訳名: Mazda Motor Corporation)
会 社 設 立	大正9年(1920年)1月30日
本 社	〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3番1号
代 表 者	代表取締役会長 社長兼CEO 山内 孝
主な事業内容	乗用車・トラックの製造、販売など
株 式	発行可能株式総数 3,000,000,000株 発行済株式総数 1,780,377,399株 株 主 数 82,768名
資 本 金	186,499,736,762円
従 業 員 数	単体 男性: 19,993名 女性: 1,754名 合計: 21,747名 (出向者を含む) 連結 合計: 38,117名
研究開発拠点	本社、マツダR&Dセンター横浜、マツダノースアメリカンオペレーションズ(米国)、マツダモーターヨーロッパ(ドイツ)、中国技術支援センター(中国)
生 産 拠 点	国 内: 本社工場(本社、宇品)、防府工場(西浦、中関)、三次事業所 海 外: 米国、中国、台湾、タイ、ジンバブエ、南アフリカ、エクアドル、コロンビア
販 売 会 社	国 内: 264社 海 外: 130社 (2010年12月31日現在)
主 要 製 品	四輪自動車、ガソリンレシプロエンジン、ディーゼルエンジン、ロータリーエンジン、自動車用手动/自動変速機

## グローバル生産(暦年)

(台)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
グローバル	1,307,468	1,289,478	1,349,392	984,520	1,307,540
国 内	966,547	995,511	1,078,690	717,175	912,836
海 外	340,921	293,967	270,702	267,345	394,704

## グローバル販売(暦年)

(台)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
グローバル	1,287,168	1,335,032	1,351,290	1,160,957	1,285,815
国 内	269,220	254,137	244,623	204,373	223,861
北 米	349,793	382,768	348,923	281,439	308,228
欧 州	306,698	311,247	339,969	256,426	217,502
中 国	126,063	101,900	127,846	179,679	239,709
その他	235,394	284,980	289,929	239,040	296,515

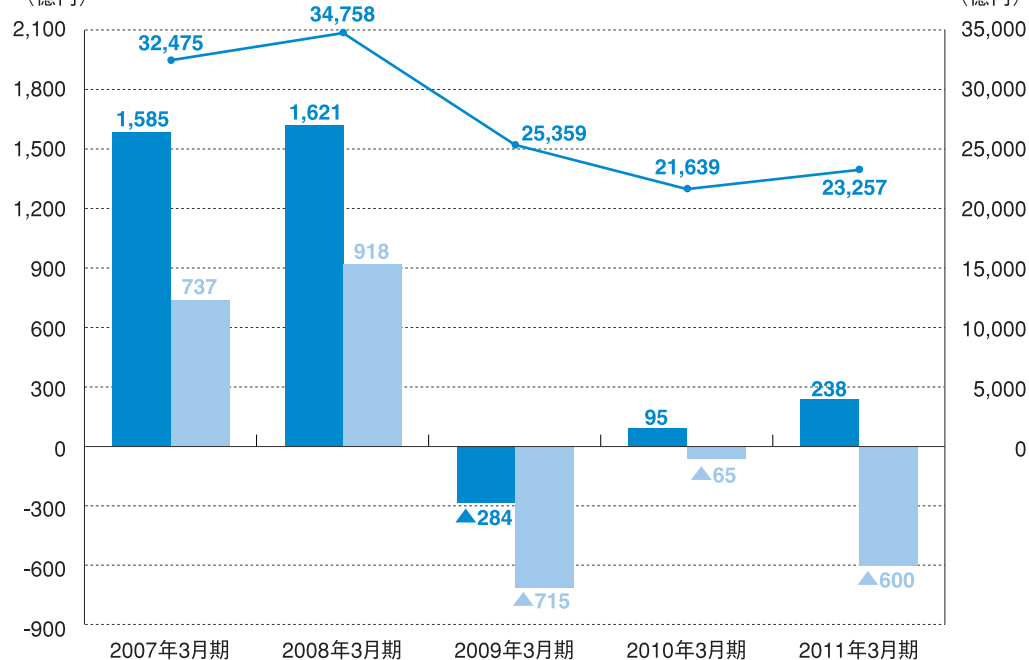
## 最近の業績(連結ベース)

項目	単位	2007年3月期 ('06.4~'07.3)	2008年3月期 ('07.4~'08.3)	2009年3月期 ('08.4~'09.3)	2010年3月期 ('09.4~'10.3)	2011年3月期 ('10.4~'11.3)
売上高	国内 (億円)	8,873	8,801	6,203	5,750	5,415
	海外 (億円)	23,602	25,957	19,156	15,889	17,842
売上高	(億円)	32,475	34,758	25,359	21,639	23,257
営業利益	(億円)	1,585	1,621	△ 284	95	238
経常利益	(億円)	1,278	1,485	△ 187	46	369
税引前当期利益	(億円)	1,185	1,431	△ 513	△ 73	161
当期利益	(億円)	737	918	△ 715	△ 65	△ 600
1株あたり当期利益	(円)	52.59	65.21	△ 52.13	△ 4.26	△ 33.92
設備投資額	(億円)	796	755	818	298	447
減価償却費	(億円)	470	665	752	764	716
研究開発費	(億円)	1,076	1,144	960	852	910
総資産	(億円)	19,078	19,856	18,010	19,478	17,718
純資産	(億円)	4,799	5,542	4,147	5,098	4,305
有利子負債残高	(億円)	4,747	5,050	7,534	7,221	6,930
純有利子負債残高	(億円)	2,322	2,811	5,326	3,758	3,702
キャッシュフロー	(億円)	210	102	△ 1,292	674	16
生産台数	国内 (千台)	967	1,047	899	828	867
	海外 (千台)	338	279	235	316	411
	(千台)	1,306	1,326	1,134	1,144	1,278
販売台数	国内 (千台)	261	256	219	221	206
	北米 (千台)	380	406	347	307	342
	欧州 (千台)	304	327	322	239	212
	中国 (千台)	129	101	135	196	236
	その他 (千台)	228	273	238	230	277
	(千台)	1,302	1,363	1,261	1,193	1,273

(注) フリーキャッシュフローは、営業活動によるキャッシュフローと投資活動によるキャッシュフローの合計。

## 業績推移

営業利益  
当期利益  
(億円)



取締役

代表取締役会長

山内 孝 (やまのうち たかし)

代表取締役

尾崎 清 (おざき きよし)

金井 誠太 (かない せいた)

トーマス・エイ・エイチ・ピクストン (Thomas A. H. Pixton)

取締役

原田 裕司 (はらだ ゆうじ)

丸本 明 (まるもと あきら)

小飼 雅道 (こがい まさみち)

金澤 啓隆 (かなざわ ひろたか)

中峯 勇二 (なかみね ゆうじ)

坂井 一郎 (さかい いちろう)

牟田 泰三 (むた たいぞう)

監査役

監査役(常勤)

山本 順一 (やまもと じゅんいち)

見立 和幸 (みたて かずゆき)

監査役

赤岡 功 (あかおか いさお)

平澤 正英 (ひらさわ まさひで)

堀田 隆夫 (ほった たかお)

執行役員

(注) ※印は取締役との兼務を示す。

※社長兼CEO(最高経営責任者)	山内 孝 (やまのうち たかし)	
※副社長執行役員兼CFO(最高財務責任者)	尾崎 清 (おざき きよし)	社長補佐、企画領域統括、財務・グローバル監査担当
※副社長執行役員	金井 誠太 (かない せいた)	社長補佐、技術領域・品質統括、モノ造り推進・R&D リエゾン室担当
※専務執行役員	トーマス・エイ・エイチ・ピクストン (Thomas A. H. Pixton)	社長補佐、フォード提携関係統括
	原田 裕司 (はらだ ゆうじ)	CSR・環境・広報担当、CFO(最高財務責任者) 補佐、法人販売補佐
	丸本 明 (まるもと あきら)	経営企画・収益管理・商品戦略・コーポレートブランド強化・コスト革新担当
	小飼 雅道 (こがい まさみち)	生産・購買統括、物流・IT ソリューション担当、モノ造り推進担当補佐
	金澤 啓隆 (かなざわ ひろたか)	研究開発担当、モノ造り推進担当補佐、株式会社マツダE&T 代表取締役社長
	中峯 勇二 (なかみね ゆうじ)	営業領域統括、顧客つながり推進、海外販売担当、マツダ・サウス・イースト・アジア,Ltd.社長
	ジェームズ・ジェイ・オサリバン (James J. O' Sullivan)	マツダモーターオブアメリカ, Inc.(マツダノースアメリカンオペレーションズ) 社長兼CEO
常務執行役員	江川 恵司 (えがわ けいし)	新興国事業担当、中南米事業準備室長
	稲本 信秀 (いなもと のぶひで)	国内営業・法人販売担当
	太刀掛 哲 (たちかけ さとし)	品質担当
	黒沢 幸治 (くろさわ こうじ)	秘書・人事・コーポレート業務推進・コンプライアンス・リスクマネジメント・病院担当
	川上 浩三 (かわかみ こうぞう)	カスタマーサービス担当
	ジェフリー・エイチ・ガイトン (Jeffrey H. Guyton)	マツダモーターヨーロッパGmbH社長兼CEO
	山田 憲昭 (やまだ のりあき)	中国事業担当、マツダ(中国)企業管理有限公司董事長兼執行総裁
	今井 一基 (いまい かずき)	購買担当
	楠橋 敏則 (くすはし としのり)	オートアライアンス(タイランド) Co.,Ltd. 社長
	光田 稔 (みつたみのる)	企画担当補佐、渉外担当、東京本社統括(東京駐在)
執行役員	中野 雅文 (なかの まさふみ)	本社工場長
	菖蒲田 清孝 (しょうぶだ きよたか)	生産担当、技術本部長、コスト革新担当補佐
	藤原 清志 (ふじわら きよし)	商品企画・プログラム開発推進・デザイン担当、コスト革新担当補佐
	毛籠 勝弘 (もろ まさひろ)	営業領域統括補佐、顧客つながり推進担当補佐、グローバルマーケティング担当
	古賀 亮 (こが あきら)	マツダモーターオブアメリカ, Inc.(マツダノースアメリカンオペレーションズ) 執行副社長 (EVP)
	古玉 尚 (ふるたま たかし)	企画本部長兼収益管理本部長、コスト革新担当補佐
	フィリップ・ジェイ・ワリング (Philip J. Waring)	マツダモーターヨーロッパGmbH COO セールス&マーケティング
	内田 成明 (うちだ なりあき)	防府工場長
	人見 光夫 (ひとみ みつお)	パワートレイン開発本部長、コスト革新担当補佐
	素利 孝久 (そり たかひさ)	車両開発本部長、コスト革新担当補佐
	圓山 雅俊 (まるやま まさとし)	品質本部長
	藤賀 猛 (ふじが たけし)	人事本部長
	藤川 和久 (ふじかわ かずひさ)	購買本部長、コスト革新担当補佐
	福原 和幸 (ふくはら かずゆき)	国内営業本部長

# 主な子会社・関連会社

## 連結子会社 51社 (2011年3月31日現在)

### 日本における連結子会社 25社

会社名	所有率	業務内容
(株)函館マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
(株)東北マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
(株)福島マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
(株)北関東マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
(株)甲信マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
(株)関東マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
静岡マツダ(株)	100.0%	自動車の販売および修理
東海マツダ販売(株)	100.0%	自動車の販売および修理
(株)北陸マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
(株)京滋マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
(株)関西マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
(株)西四国マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
(株)九州マツダ	100.0%	自動車の販売および修理

会社名	所有率	業務内容
(株)南九州マツダ	100.0%	自動車の販売および修理
沖縄マツダ販売(株)	100.0%	自動車の販売および修理
マツダパーツ(株)	99.7%	自動車部品の販売
マツダモーターインターナショナル(株)	100.0%	自動車卸売(商社)
(株)マツダオートザム	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダ中販(株)	100.0%	中古自動車販売
マロックス(株)	99.6%	自動車および部品運送
倉敷化工(株)	75.0%	自動車部品製造販売
マイクロテクノ(株)	100.0%	自動車部品製造販売
(株)マツダE&T	100.0%	特装車製造、開発
トーヨーエイテック(株)	100.0%	工作機械製造販売
マツダエース(株)	100.0%	保険・不動産など

### 海外における連結子会社 26社

会社名	所在国	所有率	業務内容
マツダモーターオブアメリカ, Inc.	米国	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダカナダ, Inc.	カナダ	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダ・モートル・デ・メヒコS. de R.L. de C.V.	メキシコ	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダ・セルヴィシオス・デ・メヒコS. de R.L. de C.V.	メキシコ	100.0%	マツダ・モートル・デ・メヒコに対する人材サービス
マツダモータース(ドイツランド) GmbH	ドイツ	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.	ベルギー	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダモーターヨーロッパGmbH	ドイツ	100.0%	欧州市場の事業統括
マツダモーターハンガリーKFT	ハンガリー	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダモータークロアチアd.o.o.	クロアチア	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダモータースロベニアd.o.o.	スロベニア	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダオートモビルフランスS.A.S.	フランス	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダモータースUK Ltd.	イギリス	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダ(スイス) S.A.	スイス	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダモートルデポルトガルLda.	ポルトガル	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダオートモービルズエスパーニャ, S.A.	スペイン	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダモーターイタリア, S.p.A.	イタリア	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダオーストリアGmbH	オーストリア	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダモーターロシア, OOO	ロシア	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダオーストラリアPty Ltd.	オーストラリア	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダモータースオブニュージーランドLtd.	ニュージーランド	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
コンパニアコロンビアナアウトモリスS.A.	コロンビア	100.0%	自動車製造販売
バイクロスマツダデベネズエラC.A.	ベネズエラ	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダセールス(タイランド) Co., Ltd.	タイ	96.1%	自動車および部品販売(卸売)
マツダサウスイーストアジアLtd.	タイ	100.0%	アセアン市場の事業統括
PTマツダモーターインドネシア	インドネシア	100.0%	自動車および部品販売(卸売)
マツダ(中国)企業管理有限公司	中国	100.0%	中国市場の事業統括

## 持分法適用会社 14社 (2011年3月31日現在)

### 日本における持分法適用会社 9社

会社名	所有率	業務内容
SMMオートファイナンス(株)	40.0%	自動車小売金融
マツダ部品広島販売(株)	33.3%	自動車部品の販売
マツダ部品山口販売(株)	33.3%	自動車部品の販売
マツダ部品西九州販売(株)	30.0%	自動車部品の販売
(株)マツダプロセッシング中国	29.0%	納車点検・架装

会社名	所有率	業務内容
ヨシワ工業(株)	33.3%	自動車部品製造販売
(株)日本クライメイトシステムズ	33.3%	自動車部品製造販売
MCMエネルギーサービス(株)	40.0%	蒸気・電力の供給販売
(株)サンフレッチェ広島	21.8%	プロサッカー球団運営

### 海外における持分法適用会社 5社

会社名	所在国	所有率	業務内容
オートアライアンスインターナショナル, Inc.	米国	50.0%	自動車製造販売
オートアライアンス(タイランド) Co., Ltd.	タイ	50.0%	自動車製造販売
一汽マツダ汽車販売有限公司	中国	40.0%	自動車および部品販売(卸売)
長安フォードマツダエンジン有限公司	中国	25.0%	自動車エンジン製造
長安フォードマツダ汽車有限公司	中国	15.0%	自動車製造販売

## 研究開発拠点

世界の市場動向、先端的な技術動向を迅速かつ的確に把握し、それぞれの市場特性にマッチした個性的でイノベティブな商品開発を推進しています。そのため、日米欧中に研究開発拠点を置いています。



	名 称	所在地	主な研究内容
日 本	本社 研究開発部門	広島県安芸郡府中町	・商品、技術企画 ・デザイン開発 ・商品開発および育成 ・重要新技術の先行研究
	マツダR&Dセンター横浜	神奈川県横浜市 神奈川区守屋町	・先行商品の企画 ・先行デザインの調査研究、開発 ・重要新技術の先行研究
米 国	マツダノースアメリカン オペレーションズ (MNAO) ※1	カリフォルニア州 アーバイン	・北米市場における技術／市場動向などの調査、研究 ・北米市場におけるデザインの開発 ・北米市場における商品適合性評価
		ミシガン州 フラットロック	
欧 州	マツダモーターヨーロッパ (MME)	ドイツ ヘッセン州 オーバーウァゼル	・欧州市場における技術／市場動向などの調査、研究 ・欧州市場におけるデザインの開発 ・欧州市場における商品適合性評価
中 国	マツダ (中国) 企業管理有限公司 中国技術支援センター (MCO-CESC)	上海市	・中国市場における技術／市場動向などの調査、研究

※1 「マツダモーターオブアメリカ, Inc.」「マツダカナダ, Inc.」「マツダ・モトール・デ・メヒコ S. de R.L. de C.V.」を総称して「マツダノースアメリカンオペレーションズ (MNAO)」と呼んでいる。

## 総合自動車試験場

名 称	所在地	開 設	土地面積	主な研究内容
三次自動車試験場	広島県三次市	1965年 6月	1,677千㎡	新商品の基本性能開発・育成の拠点として、クルマに要求される、走る・曲がる・止まるの走行テストを実施するとともに、大型の試験設備を駆使して、安全技術、環境技術の開発に取り組んでいます。
美祢自動車試験場	山口県美祢市	2006年 5月	603千㎡	三次自動車試験場がないテストコースを新設し、操縦安定性の限界テスト等、車の商品性向上に寄与しています。
北海道剣淵試験場	北海道上川郡剣淵町	1990年 1月	4,700千㎡	積雪路面での4WD・ABS・TCS※2・DSC※3など、安全走行システムの開発テストや、氷・雪害などに対する技術開発・商品性能向上等、寒冷地特有のテストを行っています。
北海道中札内試験場	北海道河西郡中札内村	2002年 1月	206千㎡	さまざまな気象環境条件の下での、車両の性能を開発するための北海道内2番目の試験場です。主に、凍結路面でのABS・TCS・DSCなどの安全走行システムの開発テストを行っています。

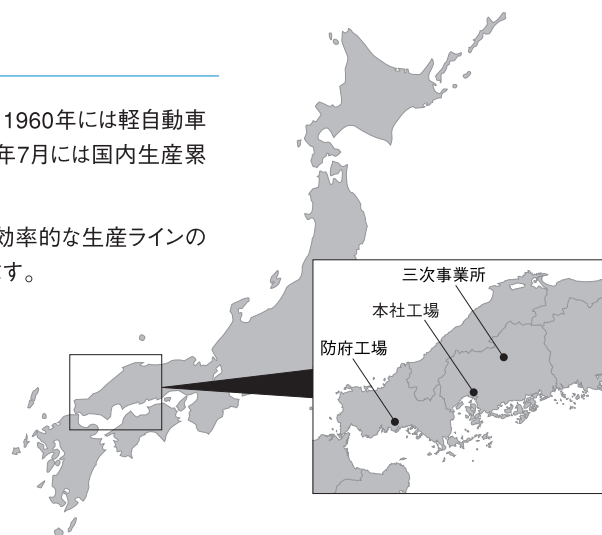
※2 TCS (トラクションコントロールシステム)：路面、および走行状況に即応して駆動力を最適化する機構。

※3 DSC (ダイナミック・スタビリティ・コントロール)：4輪ABS (アンチロックブレーキシステム) とトラクションコントロールの機能を統合し、エンジン出力制御と4輪個別の制動力を最適に制御することによって、クルマの横滑り防止を図る機構である。滑りやすい路面でのコーナリングや、危険回避のための急ハンドル操作時などにも、安定した走行姿勢を保つ。

## 日本での生産活動 (2010年12月31日現在)

・マツダは、1931年に3輪トラックの生産を開始し、自動車事業をスタートしました。1960年には軽自動車「R360クーペ」の生産を開始し、乗用車部門へ本格的に参入しました。2007年7月には国内生産累計4,000万台を達成しています。

・マツダは国内では広島、防府の2拠点に工場を持ち、人と環境にやさしく、かつ効率的な生産ラインの実現に取り組み、独自のフレキシブルな高品質・同期生産ラインを構築しています。



### 生産拠点概要

所在地	名 称	地 区	生産品目	生産能力	操業開始	土地面積
広島県安芸郡 府中町	本社工場	本社	ガソリンレシプロエンジン、自動車用手動変速機		1931年 3月	551千㎡
		宇品第1(U1)工場	デミオ、ベリーサ、ロードスター、RX-8、MPV、CX-9※、ピアンテ、ボンゴバン、デミオ(3ドアハッチバック)※	274,200台/年	1966年11月	1,685千㎡
		宇品第2(U2)工場	プレマシー、CX-7	240,600台/年	1972年12月	
			ガソリンレシプロエンジン、ディーゼルエンジン、ロータリーエンジン		1964年12月	
広島県三次市	三次事業所		ガソリンレシプロエンジン		1974年 5月	1,677千㎡
山口県防府市	防府工場	西浦 防府第1(H1)工場	アクセラセダン、アクセラスポーツ	240,600台/年	1982年 9月	792千㎡
		防府第2(H2)工場	アテンザセダン、アテンザスポーツ、アテンザスポーツワゴン、アクセラセダン	240,600台/年	1992年 2月	
		中関	自動車用手動変速機、自動変速機		1981年12月	537千㎡
プレス工業株式会社	尾道工場		ボンゴトラック			

(注) 本社地区には、本社周辺の所在地(刈崎地区)を含む。三次事業所は自動車試験場およびエンジン工場用地の合計。

※ 輸出用のみ。

### 車種別国内生産台数ー累計

(台)

車 名		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	生産累計台数
乗 用 車	デミオ	72,785	121,226	206,924	145,384	159,079	1,649,399
	ベリーサ	12,557	14,103	11,801	10,271	10,381	89,204
	アテンザ	139,848	109,303	152,980	48,328	76,498	1,100,979
	アクセラ	380,771	417,186	396,895	325,002	383,285	2,670,783
	ロードスター	48,389	37,022	22,886	19,341	20,554	897,096
	RX-8	23,363	13,833	8,237	2,970	2,801	189,954
	プレマシー／イクシオン	121,457	102,580	106,698	60,125	82,109	827,987
	MPV	33,382	19,380	13,191	7,091	6,812	1,068,591
	ピアンテ	—	—	13,557	9,031	12,148	34,736
	トリビュート／エスケープ	455	300	500	1,120	400	121,516
	CX-7	60,812	72,648	60,641	35,831	89,099	319,031
	CX-9	6,303	40,789	44,415	29,104	50,157	170,768
	その他	6,740	3,920	0	0	0	22,122,017
計		906,862	952,290	1,038,725	693,598	893,323	31,262,061
商 用 車	ボンゴ（バン・トラック）	44,859	33,627	33,334	19,164	17,311	1,978,221
	ボンゴブローニイ（バン・トラック）	7,207	5,350	4,173	2,677	1,457	860,308
	タイタン・タイタンダッシュ	7,619	4,244	2,458	1,736	745	1,723,153
	その他	0	0	0	0	0	7,394,844
計		59,685	43,221	39,965	23,577	19,513	11,956,526
総合計		966,547	995,511	1,078,690	717,175	912,836	43,218,587
内 数	ロータリーエンジン搭載車	23,363	13,833	8,237	2,970	2,801	1,994,001
	ディーゼルエンジン搭載車	124,224	86,807	92,004	61,663	75,270	4,772,980

## 日本での販売活動

### 主要販売網

(2010年12月31日現在)

	販売会社数	店舗数
マツダ系	41	820
マツダアンフィニ系	11	31
マツダオートザム系	212	236
合 計	264	1,087

### チャネル別販売車種

	登録乗用車						
	デミオ	ベリーサ	ロードスター	アクセラ	プレマシー	アテンザ	RX-8
マツダ系	●	●	●	●	●	●	●
マツダアンフィニ系	●	●	●	●	●	●	●
マツダオートザム系	●	●	●	●	●	●	●

	軽乗用車			商用車			
	キャロル	AZワゴン	AZオフロード	スクラムワゴン	ボンゴ	タイタン	スクラムバン
マツダ系	●	●	●	●	●	●	●
マツダアンフィニ系	●	●	●	●	●	●	●
マツダオートザム系	●	●	●	●	●	●	●

### 車名別販売台数

(2010年12月31日現在) (台)

車 名		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
乗 用 車	デミオ	60,114	65,480	64,997	55,614	65,950
	ベリーサ	12,859	13,850	11,910	10,162	10,609
	ロードスター	4,067	3,845	1,858	1,947	1,120
	アクセラ	24,210	22,978	16,646	26,769	26,725
	プレマシー	26,887	26,130	21,881	15,202	25,553
	アテンザ	12,257	7,663	15,853	7,398	7,105
	RX-8	5,330	4,184	3,270	1,515	963
	MPV	28,386	20,525	13,435	7,033	6,239
	ピアンテ	—	—	11,037	10,864	11,909
	CX-7	883	5,046	1,333	572	641
	その他	961	0	0	0	0
	登録車	175,954	169,701	162,220	137,076	156,814
	キャロル	8,019	8,236	8,540	8,243	11,516
	AZ-ワゴン	27,922	29,214	31,327	27,428	24,786
	AZ-オフロード	679	568	561	485	398
商 用 車	スクラムワゴン	—	3,314	3,373	2,484	2,215 ※1
	その他	3,557	2,451	1,538	1	0
	軽自動車	40,177	43,783	45,339	38,641	38,915
	計	216,131	213,484	207,559	175,717	195,729
	ボンゴ (バン・トラック)	19,231	15,026	14,209	9,872	10,170
	タイタン・タイタンダッシュ	12,561	7,503	5,775	4,061	2,997
	ファミリア (バン)	3,525	3,830	3,505	2,742	2,881
	その他	3,257	2,309	1,599	1,359	1,002
	登録車	38,574	28,668	25,088	18,034	17,050
	スクラム (バン・トラック)	14,515	11,985	11,976	10,622	11,082 ※1
	軽自動車	14,515	11,985	11,976	10,622	11,082
	計	53,089	40,653	37,064	28,656	28,132
総合計		269,220	254,137	244,623	204,373	223,861

(注) 一部速報値を確報値に更新。フォードブランド車は除く。

※1 スクラムワゴンは2007年1月より商用車から乗用車に分類変更した。

## 輸出活動

(2010年12月31日現在)

### 仕向け地域別輸出台数

(台)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
北米	286,202	289,072	271,787	206,628	290,660
ヨーロッパ	269,029	300,196	352,931	190,133	206,785
オセアニア	64,652	68,250	78,734	68,978	73,370
その他	100,690	145,458	178,066	94,087	156,004
中近東	36,997	56,425	73,437	34,692	56,533
アジア	15,342	13,912	38,435	23,584	44,485
アフリカ	9,716	15,783	13,693	6,361	9,014
中南米	38,635	59,338	52,501	29,450	45,972
総合計	720,573	802,976	881,518	559,826	726,819

### 車名別輸出台数

(台)

車 名		海外名	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
乗 用 車	デミオ	Mazda2	9,030	56,753	139,200	92,418	89,872
	プレマシー	Mazda5	92,321	79,845	85,285	44,823	54,825
	トリビュート／エスケープ	Mazda Tribute／Ford Escape	501	300	440	1,180	1,000
	RX-8	Mazda RX-8	18,133	10,050	5,317	1,454	1,845
	MPV	Mazda8	5,895	353	406	179	678
	ロードスター	Mazda MX-5 ※2	43,758	33,870	21,625	17,185	19,146
	アテンザ	Mazda6	126,945	105,335	136,304	42,095	68,457
	アクセラ	Mazda3	351,110	397,953	384,724	295,594	352,891
	CX-7	Mazda CX-7	57,095	69,052	60,168	34,597	87,635
	CX-9	Mazda CX-9	4,608	41,201	45,422	28,761	49,685
	その他	Others	6,720	4,180	0	0	0
計			716,116	798,892	878,891	558,286	726,034
商用車計			4,457	4,084	2,627	1,540	785
総合計			720,573	802,976	881,518	559,826	726,819

(注) 海外生産用部品 (KDセット) を除く。

※2 北米向けには「Miata」のサブネームがつく。

## 北米

- ・1971年、マツダは米国に現地法人を設立し、米国でのマツダ車の販売を開始しました。
- ・2010年の米国での販売台数は前年実績を10.5%上回る約23万台となり、シェアは前年と変わらず2.0%となりました。
- ・2010年のカナダでの販売台数は前年実績を6.8%上回る約7.9万台となり、シェアも前年を上回る5.1%となりました。
- ・2010年もメキシコでの販売は引き続き好調で、販売台数は前年を32.8%上回り、過去最高となる約2.5万台を記録し、シェアも過去最高となる3.1%を記録しました。
- ・米国とカナダでは、「SKYACTIV-G」（ガソリンエンジン）と「SKYACTIV-Drive」（オートマチックトランスミッション）を組み合わせ搭載した「Mazda3」のマイナーチェンジモデル（2012年モデル）を、2011年秋から販売する予定です。
- ・メキシコでは、住友商事と合併で車両およびエンジン工場を建設し、2013年度より稼働する予定です。



## 統括拠点

(2010年12月31日現在)

国/地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
米 国	マツダノースアメリカンオペレーションズ (MNAO) Mazda North American Operations ※1	① カリフォルニア州アーバイン	1997年10月	—	自動車・部品の卸売販売、北米市場における技術動向などの調査・研究、デザインの開発、商品適合性評価	—
		② ミシガン州フラットロック				

※1 「マツダモーターオブアメリカ, Inc.」「マツダカナダ, Inc.」「マツダ・モートル・デ・メヒコ, S. de R.L. de C.V.」を総称して「マツダノースアメリカンオペレーションズ (MNAO)」と呼んでいる。

## 生産拠点

(2010年12月31日現在)

国/地域名	名 称	所在地	マツダ車 生産開始時期	従業員数	主な生産車種	資本構成
米 国	② オートアライアンスインターナショナル, Inc. AutoAlliance International, Inc. (AAI)	ミシガン州フラットロック	1987年 9月※2	1,902名	アテンザ	マツダ 50% フォード 50%
	③ フォード カンザスシティ工場 Ford Motor Kansas City Assembly Plant	ミズーリ州	2000年 6月	—	トリビュート	フォード 100%

※2 マツダモーターマニュファクチャリングUSAコーポレーション (MMUC) としてマツダ車生産開始。1992年6月に現社名に名称変更。

## 販売拠点

(2010年12月31日現在)

国/地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
米 国	マツダモーターオブアメリカ, Inc. Mazda Motor of America, Inc.	カリフォルニア州アーバイン	1971年 2月	785名	マツダ 100%
カナダ	マツダカナダ, Inc. Mazda Canada Inc.	オンタリオ州リッチモンドヒル	1968年 7月	137名	マツダ 100%
メキシコ	マツダ・モートル・デ・メヒコ, S. de R.L. de C.V. Mazda Motor de Mexico, S. de R.L. de C.V.	メキシコシティ	2004年12月	37名	マツダ 99% マツダモーターインターナショナル 1%

## 生産台数

(2010年12月31日現在) (台)

		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
米 国	オートアライアンスインターナショナル, Inc.	71,493	54,335	74,959	32,065	45,138
	フォード カンザスシティ工場	15,043	23,785	15,907	7,396	9,273
合 計		86,536	78,120	90,866	39,461	54,411

## 販売台数

(2010年12月31日現在) (台)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
米 国	268,786	296,109	263,949	207,767	229,566
カナダ	81,007	86,659	84,974	73,672	78,662
メキシコ	7,495	16,604	21,997	18,914	25,117
合計	357,288	399,372	370,920	300,353	333,345

市場および  
ディストリビューター数

(2010年12月31日現在)

市場	ディストリ ビューター数	拠点数
米 国	1	640
カナダ	1	167
メキシコ	1	31
合計	3	838

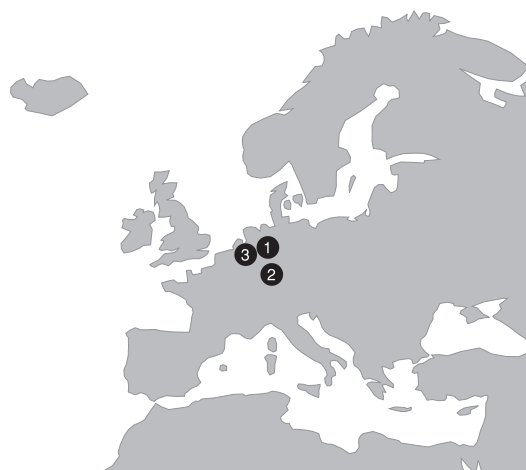
## 主要販売車種

地域	北米		
市場	米国	カナダ	メキシコ
デミオ	●	●	●
アクセラ	●	●	●
プレマシー	●	●	●
アテンザ	●	●	●
CX-7	●	●	●
CX-9	●	●	●
ロードスター	●	●	●
RX-8	●	●	
トリビュート	●	●	

# 地域別の活動

## 欧州

- マツダは1967年より欧州でのマツダブランド車の販売を開始し、1972年にはドイツに現地法人を設立しました。
- 2000年頃より欧州主要国で販売網の再構築に着手しました。主要国のディストリビューターをマツダ直轄下に置き、販売・マーケティング活動の効率化や欧州での一貫した戦略・施策を推し進めています。
- 2010年の欧州での販売台数は前年実績を15.2%下回る、約21.8万台となりました。
- 2011年3月に開催されたジュネーブモーターショーでは、新世代技術「SKYACTIV」と新デザインテーマ「魂動(こどう) - Soul of Motion」を具現化した小型クロスオーバーSUVコンセプトカー「マツダ 勢 (MINAGI)」を世界初公開しました。その量産モデル「Mazda CX-5」は、新世代商品群の第一弾として2012年からグローバルに導入される予定です。



## 統括拠点

(2010年12月31日現在)

国/地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
ドイツ	① マツダモーターヨーロッパGmbH (MME) Mazda Motor Europe GmbH	ノルトラインウエスト ファーレン州レバークーゼン	1998年 3月	285名	事業所 販売	マツダモーター ロジスティクス ヨーロッパN.V. 100%
	② (European R&D Centre)	ヘッセン州オーバーヴァッセル	1987年12月	86名	研究開発	
ベルギー	③ マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. Mazda Motor Logistics Europe N.V. (Vehicles and Parts Distribution Center)	アントワープ州ウィルブローク	1998年 8月	401名	事業所 物流、販売	マツダ 100%

## 販売拠点

(2010年12月31日現在)

国/地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
ドイツ	マツダモータース(ドイツランド) GmbH Mazda Motors (Deutschland) GmbH	ノルトラインウエスト ファーレン州レバークーゼン	1972年11月	149名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 25%
イギリス	マツダモータース UK Ltd. Mazda Motors UK Ltd.	ケント州ダートフォード	2001年 5月	92名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 25%
フランス	マツダ オトモビル フランスS.A.S Mazda Automobiles France S.A.S	イヴリーヌ県 サン・ジェルマン・アン・レイ	2001年 2月	44名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 25%
スイス	マツダスイスS.A. Mazda (Suisse) S.A.	プチランシー	2001年 2月	39名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 25%
オーストリア	マツダオーストリアGmbH Mazda Austria GmbH	クラゲンフルト	1981年 7月	106名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 25%
スペイン	マツダオートモービルズエスパーニャ,S.A. Mazda Automoviles Espana, S.A.	マドリッド	2000年 2月	46名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 25%
ポルトガル	マツダモートルデポルトガルLda. Mazda Motor de Portugal Lda.	リスボン	1995年 2月	20名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 25%
イタリア	マツダモーターイタリア,S.p.A. Mazda Motor Italia S.p.A.	ローマ	1999年12月	54名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 25%
ロシア	マツダモーターロシア,OOO Mazda Motor Russia, OOO	モスクワ	2005年12月	62名	マツダ 100%
デンマーク	マツダモーターデンマーク Mazda Motor Denmark	レズオウア	2003年 4月	17名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 支店
ノルウェー	マツダモーターノルウェー Mazda Motor Norge	コルボン	2004年 4月	14名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 支店

## 販売拠点

(2010年12月31日現在)

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
スウェーデン	マツダモーターズスウェーデン Mazda Motor Sweden	クングスバッカ	2004年 4月	17名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 支店
アイルランド	マツダモーターアイルランド Mazda Motor Ireland	ダブリン	2006年 7月	8名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 支店
チェコ	マツダモーターチェコ Mazda Motor Czech	プラハ	2006年10月	14名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 支店
スロバキア	マツダモーターズスロバキア Mazda Motor Slovakia	ブラチスラバ	2006年10月	6名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 支店
ベルギー・ ルクセンブルク	マツダモーターベラックス Mazda Motor Belux	ウィルブローク	2007年 4月	28名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 支店
ハンガリー	マツダモーターハンガリー Mazda Motor Hungary Kft	ブダペスト	2008年 4月	14名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 100%
クロアチア	マツダモータークロアチア Mazda Motor Croatia d.o.o.	ザグレブ	2008年 4月	13名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 100%
スロベニア	マツダモーターズスロベニア Mazda Motor Slovenija d.o.o.	リュブリャナ	2008年 4月	10名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 100%
ポーランド	マツダモーターポーランド Mazda Motor Poland Co., Ltd.	ワルシャワ	2008年 5月	19名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 支店
トルコ	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. メルケジ・ベルチカ・トルキエ・イスタンブール・シュベシ Mazda Motor Logistics Europe N.V. Merkezi Belcika Turkiye Istanbul Subesi	イスタンブール	2008年 6月	11名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 支店
オランダ	マツダモーターネーデルランド Mazda Motor Nederland	ワディンクスフェーン	2008年10月	33名	マツダモーターロジスティクス ヨーロッパN.V. 支店

## 生産台数

(2010年12月31日現在) (台)

		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
スペイン	フォード バレンシア工場※	29,245	14,235	—	—	—

※ 2007年6月に生産終了。

## 販売台数

(2010年12月31日現在) (台)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
欧 州	306,698	311,247	339,969	256,426	217,502

## 市場およびディストリビューター数

(2010年12月31日現在)

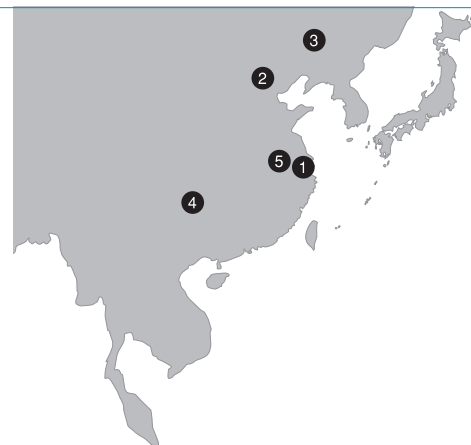
	市場	ディストリ ビューター数	拠点数
欧 州	41	31	2,232

## 主要販売車種

地 域	欧 州							
市 場	オーストリア	フランス	ドイツ	イタリア	ロシア	スペイン	スイス	イギリス
デミオ	●	●	●	●	●	●	●	●
アクセラ	●	●	●	●	●	●	●	●
プレマシー	●	●	●	●	●	●	●	●
アテンザ	●	●	●	●	●	●	●	●
CX-7	●	●	●	●	●	●	●	●
ロードスター	●	●	●	●	●	●	●	●
BT-50	●	●	●	●	●	●	●	

## 中国

- マツダは2001年より本格的に中国市場に進出し、2007年には「生産」「販売」「商品」の基盤整備がほぼ完了しました。
- マツダ（中国）企業管理有限公司では、2つの販売チャネルである「一汽マツダ」「長安マツダ」を統括し、統一したブランド戦略を展開しています。
- 2010年の生産台数は前年比31.5%増となる約22.9万台、販売台数は33.4%増の約24万台となり、ともに初めて20万台を超え、暦年として過去最高を記録しました。
- 2011年中には現地生産による新型「Mazda3セダン：中国名／Mazda3 星骋（Xingcheng）」を発売する予定です。



## 統括拠点

（2010年12月31日現在）

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
中 国	① マツダ（中国）企業管理有限公司 Mazda Motor (China) Co., Ltd. (略称 MCO)	上海市 浦東新区	2005年 1月	39名	中国市場の事業統括	マツダ 100%
	② マツダ（中国）企業管理有限公司 北京分公司 Mazda Motor (China) Co., Ltd. Beijing Branch (略称 MCO-Beijing)	北京市 朝陽区	2007年 11月	19名	MCO支社	—
	③ マツダ（中国）企業管理有限公司 中国技術支援センター Mazda Motor (China) Co., Ltd. China Engineering Support Center (略称 MCO-CESC)	上海市 嘉定区	2005年 8月	44名	MCO支社・事務所・ワークショップ 技術動向などの調査、研究、およびR&D、 購買、品質、サービス領域の技術支援	—

## 生産拠点

（2010年12月31日現在）

国／地域名	名 称	所在地	マツダ車 生産開始時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
中 国	③ 一汽乗用車有限公司 FAW Car Co., Ltd. (略称 FCC)	吉林省 長春市	2003年3月	—	アテンザ、MPV	現地 100%
	④ 長安フォードマツダ汽车有限公司 Changan Ford Mazda Automobile Co., Ltd. (略称 CFMA)	重慶市	2006年2月 (2001年4月 長安フォード設立)	5,913名	—	長安汽車50% フォード 35% マツダ 15%
	⑤ 長安フォードマツダ汽车有限公司 南京公司 Changan Ford Mazda Automobile Co., Ltd. Nanjing Company (略称 CFMA-Nanjing)	江蘇省 南京市	2007年10月	3,129名	デミオ、アクセラ	
	⑥ 長安フォードマツダエンジン有限公司 Changan Ford Mazda Engine Co., Ltd. (略称 CFME)	江蘇省 南京市	2007年4月 (2005年9月設立)	1,780名	自動車用エンジン	長安汽車50% マツダ 25% フォード 25%

## 販売拠点

（2010年12月31日現在）

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
中 国	一汽マツダ汽車販売有限公司 FAW Mazda Motor Sales Co., Ltd. (略称 FMSC)	吉林省 長春市	2005年 3月	297名	一汽乗用車 56% マツダ 40% 第一汽車集団 4%
	長安フォードマツダ汽车有限公司 販売分公司 長安マツダ事業部 Changan Ford Mazda Automobile Co., Ltd. Sales Branch Office, Changan Mazda Division (略称 CAM)	北京市 朝陽区	2007年 4月	185名	長安フォードマツダ汽車 有限公司の販売部門

## 生産台数

（2010年12月31日現在）（台）

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
中 国					
一汽乗用車	46,640	57,661	65,670	101,844	139,635
長安フォードマツダ汽車	3,490	40,087	39,695	71,944	88,950
一汽海馬汽車※3	74,601	12,141	—	—	—
合 計	124,731	109,889	105,365	173,788	228,585

※3 一汽海馬汽車は2007年12月に契約終了。

## 主要販売車種

市 場	中 国
デミオ	●
アクセラ	●
プレマシー	●
アテンザ	●
MPV	●
CX-7	●
ロードスター	●

## 販売台数

（2010年12月31日現在）（台）

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
中 国	126,063	101,900	127,846	179,679	239,709

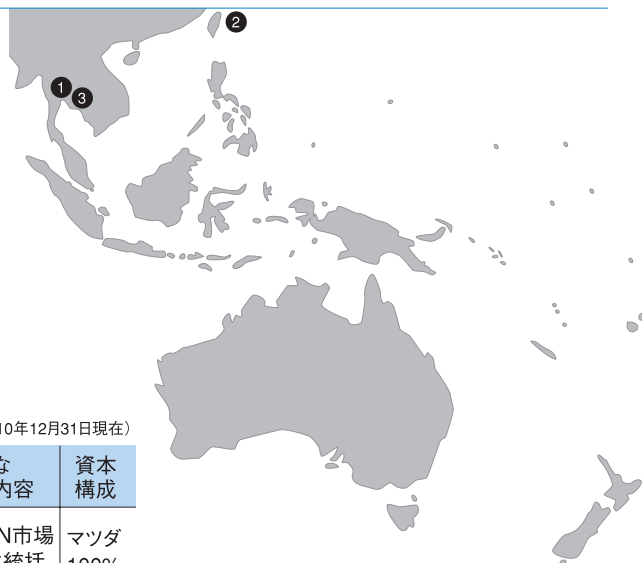
## 市場および ディストリビューター数

（2010年12月31日現在）

市 場	ディストリ ビューター数	拠点数
中 国	2	312

## アジア・大洋州

- マツダは、1998年よりタイにおけるフォードとの合弁生産工場オートアライアンス（タイランド）（AAT）において、ピックアップトラックの現地生産を開始しました。
- さらにAATでは、2009年9月より「Mazda2」、2011年1月より「Mazda3」の生産を開始しています。
- 2010年は、オーストラリア、タイ、インドネシア、マレーシアで、暦年として過去最高の販売台数を記録しました。
- 2011年後半には、フォードと共同開発し、AATで生産する次期ピックアップトラック「BT-50」を、オーストラリア市場より導入を開始する計画です。



## 統括会社

(2010年12月31日現在)

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
タ イ	マツダサウスイーストアジアリミテッド ① Mazda South East Asia, Ltd. (略称 MSEA)	バンコク	2005年 8月	21名	ASEAN市場 の事業統括	マツダ 100%

## 生産拠点

(2010年12月31日現在)

国／地域名	名 称	所在地	マツダ車 生産開始時期	従業員数	主な生産車種	資本構成
台 湾	② 福特六和汽車股份有限公司 Ford Lio Ho Motor Co., Ltd. (略称 FLH)	中歴市	1987年 3月	1,300名	アクセラ、プレマシー	フォード 70% 現 地 30%
タ イ	③ オートアライアンス（タイランド）Co., Ltd. AutoAlliance (Thailand) Co., Ltd. (略称 AAT)	ラヨーン県 イースタン・ シーボード工業団地	1998年 5月※1 (1995年11月設立)	5,813名	デミオ、BT-50	マツダ 50% フォード 50%

※1 乗用車は2009年9月に生産開始。

## 販売拠点

(2010年12月31日現在)

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
タ イ	マツダセールス（タイランド）Co., Ltd Mazda Sales (Thailand) Co., Ltd.	バンコク	1990年 6月	92名	マツダ 96.1% KKS 3.9%
インドネシア	PTマツダモーターインドネシア PT. Mazda Motor Indonesia	ジャカルタ	2006年 2月	24名	マツダ 99.96% MSEA 0.04%
オーストラリア	マツダオーストラリアPty Ltd. Mazda Australia Pty Ltd.	ビクトリア州 マウントウエイバリー	1967年 4月	183名	マツダ 100%
ニュージーランド	マツダモーターズオブニュージーランドLtd. Mazda Motors of New Zealand Ltd.	オークランド市 マウントウエリントン	1972年 6月	26名	マツダ 100%

## 生産台数

(2010年12月31日現在) (台)

		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
台 湾	福特六和汽車	17,735	14,097	6,062	9,491	6,977
タ イ	オートアライアンス (タイランド) Co., Ltd.	43,566	51,876	48,238	29,408	87,348
マレーシア	アソシエティッド モーターズ ※2	540	190	148	—	—
フィリピン	フォードフィリピン	—	285	200	180	—
インド	スワラジマツダ ※3	10,379	2,939	—	—	—

※2 マレーシアのアソシエティッドモーターズインダストリー社は2008年3月に契約終了。

※3 インドのスワラジマツダ社とは2005年8月に資本関係を解消。

## 主要販売車種

地 域	アジア					オセアニア	
市 場	インド ネシア	マレー シア	フィリ ピン	台湾	タイ	オースト ラリア	ニュージー ランド
デミオ	●	●	●	●	●	●	●
アクセラ		●	●	●	●	●	●
プレマシー		●		●			
アテンザ	●	●	●	●		●	●
CX-7	●	●	●	●		●	●
CX-9	●	●	●	●	●	●	●
MPV	●	●					
ロードスター	●	●	●		●	●	●
RX-8	●	●				●	●
BT-50	●	●	●		●	●	●

## 販売台数

(2010年12月31日現在) (台)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
アジア (中国以外)	50,099	43,740	31,942	33,696	66,980
オセアニア	71,272	85,883	88,512	84,614	92,149

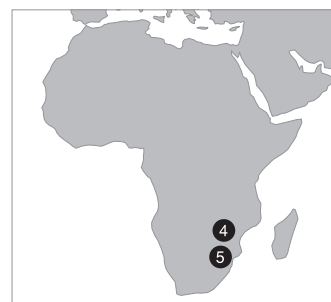
## 市場およびディストリビューター数

(2010年12月31日現在)

	市場数	ディストリ ビューター数	拠点数
アジア (中国以外) ※4	11	11	252
オセアニア	14	14	177

※4 台湾含む。

## カリブ・中南米※・中近東・アフリカ ※メキシコを除く(北米のページ参照)



### マツダ事務所

(2010年12月31日現在)

国/地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
アラブ首長国連邦	① マツダ中近東事務所 Mazda Representative Office (Middle East)	ドバイ	1982年3月	5名	販売店への販売・ サービス支援・指導業務	—

### 生産拠点

(2010年12月31日現在)

国/地域名	名 称	所在地	マツダ車 生産開始時期	従業員数	主な生産車種	資本構成
コロンビア	② コンパニアコロンビアナアウトモリスS.A. Compania Colombiana Automotriz S.A. (CCA)	ボゴタ	1983年 4月	777名	アクセラ、デミオ、 BT-50	マツダ 95% マツダモーター インターナショナル 5%
エクアドル	③ マヌファクトゥラス アルマドゥリアス イレプエストス エクアトリアノス S.A. (マレサ) Manufacturas, Armaduras y Repuestos Equatorianos S. A. (MARESA)	キト	1986年11月	—	BT-50	現地 100%
ジンバブエ	④ ウィローベールマツダモーターインダストリーズ Willowvale Mazda Motor Industries (PVT) Ltd.	ハラレ	1980年 7月	195名	アクセラ、BT-50	MOTEC 58% マツダ 25% Workers Trust 9% 伊藤忠商事 8%
南アフリカ	⑤ フォードモーターカンパニーオブ サザンアフリカ(Pty.) Ltd. Ford Motor Company of Southern Africa (Pty.) Ltd.	プレトリア	1963年 6月	—	BT-50	フォード 100%

### 販売拠点

(2010年12月31日現在)

国/地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
コロンビア	コンパニア コロンビアナ アウトモリスS.A.※1 Compania Colombiana Automotriz S.A. (CCA)	ボゴタ	1973年 10月※1	777名	マツダ 95% マツダモーター インター ナショナル 5%

※1 コンパニアコロンビアナアウトモリスS.A.社は生産と販売を行っている。  
マツダ車の組立生産を1983年に開始。

### 市場およびディストリビューター数

(2010年12月31日現在)

	市場	ディストリビューター数	拠点数
カリブ・中南米 ※3	34	34	238
中近東	12	12	234
アフリカ	34	23	239

※3 メキシコを除く(北米のページ参照)。

### 販売台数

(2010年12月31日現在) (台)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
カリブ・中南米 ※3	46,336	61,564	53,530	33,308	41,104
中近東	40,223	55,399	68,120	51,691	55,102
アフリカ	18,970	21,905	25,832	16,838	16,332

※3 メキシコを除く(北米のページ参照)。

### 生産台数

(2010年12月31日現在) (台)

		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
コロンビア	コンパニアコロンビアナ アウトモリスS.A.	3,664	5,620	4,159	3,520	4,517
エクアドル	マヌファクトゥラス アルマドゥリアス イレプエストス エクアトリアノス S.A. (マレサ)	5,349	6,236	8,941	6,861	8,948
イラン	バーマンモーター ※2	12,135	2,886	—	—	—
ジンバブエ	ウィローベール	926	1,611	1,463	911	257
南アフリカ	フォードサザンアフリカ	6,115	5,983	5,260	3,725	3,661

※2 イランのバーマンモーターは2007年でノックダウン生産終了。

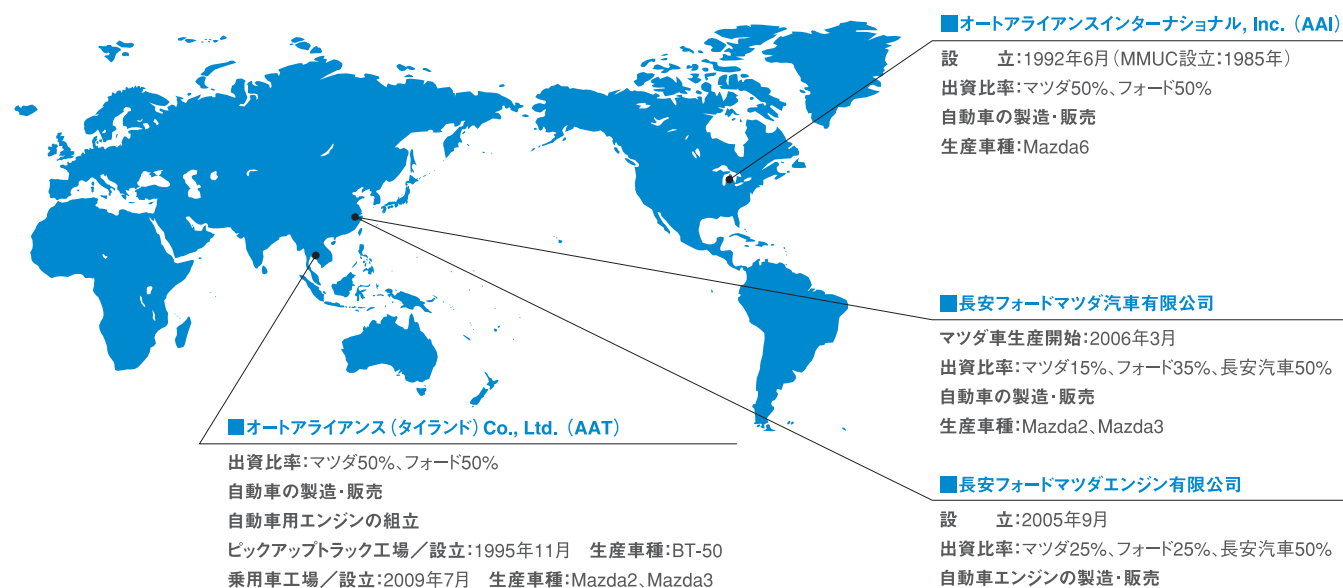
### 主要販売車種

地 域	カリブ・中南米			中近東		アフリカ	
市 場	コロン ビア	エクア ドル	チリ	イスラ エル	サウジ アラビア	南 アフリカ	ジンバ ブエ
デミオ	●	●	●	●	●	●	●
アクセラ	●	●	●	●	●	●	●
プレマシー	●	●	●	●	●	●	●
アテンザ	●	●	●	●	●	●	●
CX-7	●	●	●	●	●	●	●
CX-9	●	●	●	●	●	●	●
ロードスター	●	●	●	●	●	●	●
BT-50	●	●	●	●	●	●	●

# フォードとの関係

## 共同事業概要

マツダとフォード・モーター・カンパニーは、1979年11月に資本提携を結んで以来、長期にわたり良好なパートナーシップの関係のもと、生産、開発、販売、物流などの事業活動において、互いのシナジーを追求しています。



## フォードとの協関係におけるこれまでの主な推移

1979年	11月	資本提携、フォードの持株比率25%
1982年	10月	オートラマチャンネル営業開始(フォードブランド車販売)
1992年	6月 7月	MMUCをオートアライアンスインターナショナル, Inc. (AAI)と社名変更し、フォードと共同経営化 フォードと当社のオートラマへの出資比率を均等化
1993年	6月 12月	フォードより小型トラックを購入し、「マツダBシリーズ」として北米で販売を開始 長期的観点から、両社間の協力拡大強化を狙った戦略的協関係の構築に合意
1995年	11月	フォードと合併で、タイにオートアライアンス(タイランド)社(AAT)を設立
1996年	3月 5月 6月	フォードより小型乗用車を購入し、「マツダ121」として欧州での販売を開始 フォードとの戦略的協関係強化、フォードの持株比率を25%から33.4%に引き上げ ヘンリーD.G. ウォレス社長就任
1997年	1月 3月 11月	オートラマをフォードセールスジャパンに社名変更 フォードと商品サイクルプランの同期化/プラットフォームの共通化に基本合意 ジェームズE. ミラー社長就任
1998年	5月	AAT社で小型ピックアップトラックを生産開始
1999年	3月 11月 12月	当社の保有するフォードセールスジャパンの株式をフォードオブジャパンに売却 フォードと新型エンジンシリーズを共同開発し、分業生産することを発表 マーク・フィールズ社長就任
2000年	11月	フォードとの共同開発車「トリビュート」を国内で発売
2002年	1月 6月	フォードグループのセンターオブエクセレンスとして開発した「MZRエンジン」の日本での生産を開始 ルイス・ブース社長就任
2003年	1月	フォードのバレンシア工場(スペイン)で「Mazda2」の生産を開始
2004年	6月	資本提携25周年 フォード会長兼CEOビル・フォード氏がマツダを訪問
2005年	9月	フォードおよび長安汽車と合併で「長安フォードマツダエンジン有限公司」を設立
2006年	2月 3月	長安フォード重慶工場にてMazda3の生産開始 長安フォードにマツダが出資し、「長安フォードマツダ汽车有限公司」に社名変更
2007年	4月 10月	長安フォードマツダエンジン有限公司でエンジンの生産開始 マツダとフォードはAAT社にBカーセグメントの小型乗用車を生産する新工場を建設することを発表 長安フォードマツダ汽车有限公司南京工場でMazda2の生産開始
2008年	11月	フォードの持ち株比率を33.4%から13.8%へと変更
2009年	7月 11月	マツダとフォードは、AAT社に新乗用車工場の建設を完成 マツダの公募増資により、フォードの持株比率が13.8%から11.0%へと変更
2010年	8月 11月	AATが次世代ピックアップトラックの生産に向けて3億5,000万米ドルを投資 フォードの持ち株比率を11.0%から3.5%へと変更

## 1920ー

## 経営

1920年	1月	東洋コルク工業株式会社として創立、海塚新八社長就任	1974年	5月	三次ディーゼルエンジン工場完成
1921年	3月	松田重次郎社長就任	1975年	1月	タイで現地組立を開始
1927年	9月	東洋工業株式会社に改称	1977年	12月	山崎芳樹社長就任
1929年	4月	工作機械の製作開始	1978年	1月	ロータリーエンジン車生産累計100万台達成
1931年	10月	3輪トラック「マツダ号」を生産開始	1979年	6月	自動車生産累計1,000万台達成
1932年	ー	大連、奉天、青島へ3輪トラック初輸出	11月	フォードとの資本提携を開始	
1935年	10月	さく岩機の生産開始	1981年	12月	防府中間変速機工場稼働開始 「オートラマ」を設立（'82年10月より商品供給開始）
1945年	8月	建物の一部を広島県に貸与、県庁の全機構が当社に移される（〜'46年7月）	1982年	9月	防府西浦工場本格操業開始
1949年	8月	3輪トラック輸出再開（インド）	1983年	4月	コロンビアで現地生産開始（CCA設立）
1951年	12月	松田恒次社長就任	1984年	5月	マツダ株式会社へ社名変更
1961年	7月	独NSU社、バンケル社とロータリーエンジンに関し技術提携	10月	マツダ財団設立	
1962年	1月	韓国で現地組立開始	11月	山本健一社長就任	
1963年	3月	自動車生産累計100万台達成	1985年	1月	米国生産会社（MMUCのちのAAI）を設立
	6月	南アフリカで現地組立開始	3月	マツダ北京事務所設立	
1965年	1月	英国パーキンスサービス社とディーゼルエンジンに関し技術提携	1986年	4月	ロータリーエンジン車生産累計150万台達成
	5月	三次自動車試験場完成	12月	マツダR&Dセンター、アナーバー（米国）完成	
1966年	11月	宇品乗用車専用工場完成	1987年	4月	生産累計2,000万台を達成
1967年	3月	欧州向け本格輸出開始	6月	技術研究所横浜研究所開設	
	4月	オーストラリアに販売会社を設立	12月	古田徳昌社長就任	
1968年	7月	カナダに販売会社を設立		スズキ（株）（鈴木自動車工業）との軽自動車生産協力を発表	
1969年	4月	ロータリーエンジン車本格輸出開始	1988年	5月	マツダR&Dセンター、アーバイン（米国）完成
1970年	4月	対米輸出開始	1989年	4月	「ユーノス」「オートザム」設立
	11月	松田耕平社長就任	6月	東京支社を東京本社に呼称変更	
1971年	2月	マツダモーターオブアメリカ（MMA）設立	1990年	5月	マツダ欧州R&D事務所（MRE）完成
1972年	10月	マツダトレーニングセンター鯛尾完成	12月	生産累計2,500万台達成	
	12月	自動車生産累計500万台達成			

## 商品

1931年	10月	マツダ初の自動車、3輪トラック「マツダ号」新発売	1970年	5月	「カベラ」新発売
1950年	6月	マツダ初の小型4輪トラック「CA車」新発売	1971年	9月	「グランドファミリア」新発売 「サバンナ」新発売
1958年	4月	小型4輪トラック「ロンパー」新発売（後に「Dシリーズ（クラフト）」 「Eシリーズ（タイタン）」へ派生）	1972年	6月	軽乗用車「シャンテ」新発売
1960年	5月	軽乗用車「R360クーペ」新発売	1975年	3月	「ロードペーサー」新発売
1961年	2月	軽4輪トラック「B360」新発売（後に「ポーター」へ改称）	10月	「コスモ」新発売	
	8月	小型4輪トラック「B1500」新発売（後に「プロシード」へ改称）	1978年	3月	「サバンナRX-7」新発売
1962年	2月	軽乗用車「キャロル」新発売	1980年	12月	5代目「ファミリア」が「1980-1981日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
1963年	10月	「ファミリア800バン」新発売	1982年	12月	4代目「カベラ（テルスター）」が「1982-1983日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
1964年	10月	「ファミリアセダン」新発売	1983年	6月	「ボンゴブローニイ」新発売
1965年	5月	ライトバス新発売（後に「パークウェイ」へと改称）	1986年	2月	「フェスティバ」新発売
1966年	5月	「ボンゴ」新発売	1987年	1月	「エチュード」新発売
	8月	「ルーチェ」新発売	1988年	10月	「ベルソナ」新発売
1967年	5月	初のロータリーエンジン搭載車「コスモスポーツ」新発売	1989年	6月	「スクラム」新発売（スズキ（株）からのOEM）
1969年	4月	軽4輪トラック「ポーターキャブ」新発売	9月	「ユーノスロードスター」新発売	
	10月	中型トラック「ボクサー」新発売	11月	「ユーノス100」「ユーノス300」新発売	

1991年	6月	第59回ル・マン24時間レースでマツダ787Bが日本車史上初の総合優勝	1999年	6月	AAIが生産累計200万台を達成
	11月	「マツダオート」チャンネルを「アンフィニ」に変更			三菱自動車と小型商用車のOEM供給で合意
1992年	12月	和田淑弘社長就任	1999年	9月	防府工場が環境ISO認証の取得を完了
	2月	防府第2工場が本格操業を開始		12月	マーク・フィールズ社長就任
1993年	4月	「マツダ地球環境憲章」を制定	2000年	4月	通商産業省の支援による燃料電池電気自動車の実車走行試験・共同プロジェクトに参加
	9月	中国で現地生産を開始		6月	全国生産拠点でISO14001認証を取得
1994年	3月	環境に関する行動推進計画を策定	2000年	7月	メディアウェブサイトを開設
	5月	米国AAIでの生産累計100万台達成			マツダ、乗用車共通の「ブランドDNA」を策定
1995年	11月	国内自動車メーカーで初めて「ISO9002」規格の認証を取得	2000年	8月	タイ製ピックアップトラックが生産累計10万台を達成
	4月	生産累計3,000万台達成		11月	中期経営計画「ミレニアムプラン」を発表
1996年	11月	タイでAAT設立（工場着工は翌年2月）	2001年	1月	低コストの塗膜除去技術を活用した回収バンパー再生材の用途を拡大し、新車のバンパー補強用部品に採用
	4月	「アンフィニ」店を「マツダアンフィニ」店に呼称変更		2月	日本初、インターネットを使った受注生産（BTO）を開始
1997年		「ユーノス」店を「マツダアンフィニ」店または「マツダ店」に統合	2002年	9月	宇品第2工場を閉鎖（〜'04年5月）
	6月	開発からアフターサービスまでカバーする「ISO9001」を国内自動車メーカーで初めて取得		1月	防府工場が累計生産台数500万台を達成
1998年		ヘンリー・D. G. ウォレス社長就任			北海道 中札内試験場を竣工
	6月	「新ブランドシンボル」を制定			MZRエンジンの生産を国内で開始
1999年	10月	北米事業を統合（MNAOスタート）	2002年	3月	事業所内保育施設「わくわくキッズ園」を設置
	11月	ジェームズE. ミラー社長就任		4月	新ブランドメッセージ「Zoom-Zoom」を展開
2000年	12月	倫理委員会を設置	2002年	5月	執行役員制度を導入するなどコーポレートガバナンスを強化
	1月	社章を変更		6月	ルイス・ブース社長兼CEO就任
2001年	3月	欧州事業を統合（現MMEスタート）	2002年	8月	マツダレンタリースのリースカー事業を住銀オートリースに売却
	4月	プロダクトフィロソフィーを制定		9月	マツダアステック（さく岩機製造）をサンドビックグループに営業譲渡
2002年	5月	AATで生産開始		12月	経営諮問委員会を設置し、コーポレートガバナンスを強化
	8月	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.（MLE）を設立			
2003年	9月	防府工場・西浦工場がISO14001を取得			
	12月	AATより輸出開始			

1990年	1月	「MPV」新発売	1995年	2月	「プロシードレバンテ」新発売（スズキ（株）からのOEM）
	4月	「ユーノスコスモ」新発売		6月	「ボンゴフレンディ」新発売
1991年	9月	「レビュー」新発売	1996年	8月	「デミオ」新発売
	5月	「センチア」新発売		10月	初代「デミオ」が「RJCニュー・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
1992年	6月	「ユーノスプレzzo」「AZ-3」新発売	1997年	12月	燃料電池電気自動車「デミオFCEV」を開発
	10月	水素RE自動車「HR-X」を東京モーターショーで発表	1998年	5月	小型キャブオーバーバン「ボンゴEV」を発売
1993年		「クロノス」新発売		10月	軽自動車「AZ-オフロード」新発売（スズキ（株）からのOEM）
	11月	「アンフィニMS-6」「アンフィニMS-9」新発売	1999年		軽自動車「キャロル」、スズキ（株）からのOEM供給に（4代目）
1994年	1月	「MX-6」新発売		3月	軽自動車「ラピュタ」新発売（スズキ（株）からのOEM）
	2月	「ユーノス500」新発売	2000年	4月	アルデヒド除去剤「ライフ・プレス」を開発
1995年	3月	「アンフィニMS-8」新発売			「プレマシー」新発売
	5月	「クレフ」新発売	2001年	7月	「ロードスター」が“世界で最も多く生産された2人乗り小型オープンスポーツカー”としてギネスに認定（565,779台）
1996年	10月	軽自動車「AZ-1」新発売		10月	「タイタンダッシュ」新発売
	11月	天然ガスエンジン搭載乗用車を開発	2002年	11月	「トリビュート」新発売
1997年	1月	「ユーノスロードスター」ベースの高性能電気自動車を開発		2月	燃料電池自動車「プレマシーFC-EV」を開発、国内初の公道走行試験を開始
1998年	4月	ミラーサイクルエンジンの開発に成功	2002年	12月	新世代モジュール基材材用の高強度プラスチック技術を開発
	9月	「ランティス」新発売		2月	軽自動車「スピアーノ」新発売（スズキ（株）からのOEM）
1999年	10月	「ユーノス800」新発売	2002年	5月	次世代商品第一弾として、「アテンザ」新発売
	2月	「タイタン」天然ガストラックを開発		7月	機械加工時の切削液の使用量を大幅削減する「セミドライ加工」で環境への負荷を軽減
2000年	9月	「AZ-ワゴン」新発売（スズキ（株）からのOEM）	2002年		世界初の環境にやさしい「スリー・ウエット・オン塗装技術」を開発し、揮発性有機化合物と二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）を削減
		商用車「ファミリアバン」、日産自動車（株）からのOEM供給に（5代目）		11月	初代「アテンザ」が「2003RJCカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
2001年				12月	先進安全自動車（ASV）の公道走行試験を開始

## 2003—

## 経営

2003年	1月	新世代ロータリーエンジン「RENESIS」の生産を開始 中国一汽乘用车で「Mazda6」の生産開始 フォード バレンシア工場（欧州）で「Mazda2」の生産を開始（〜'07年6月）	2006年	1月	三菱商事とエネルギー供給会社「MCMエネルギーサービス（株）」を設立
	7月	いすゞ（株）と小型トラックのOEM供給で合意		2月	「Mazda3」を長安フォード重慶工場で生産開始
	8月	井巻久一社長兼CEO就任		4月	マツダオートザム 販売累計台数100万台達成
				5月	美祢自動車試験場を開設の開所式を実施
2004年	2月	販売系列全店で軽自動車の扱いを開始、登録車も併売を拡大		7月	自動車運搬船「クーガーエース」事故発生
	4月	国内生産体制再編のため、本社第1工場での生産を終了		9月	AAIが生産累計300万台を達成
	5月	国内生産体制再編のため、宇品第2工場を再稼働		10月	マツダオフィシャルウェブサイトを刷新
	9月	マツダレンタカーの全株式を譲渡	2007年	3月	新中期計画「マツダ アドバンスメント プラン」を策定 技術開発の長期ビジョン「サステイナブル “Zoom-Zoom” 宣言」を策定
2005年	12月	宇品第1工場で火災発生		4月	長安フォードマツダエンジン工場（南京）でのエンジン量産開始
	2月	本社敷地内に水素ステーションを開設 創業85周年を機に「マツダミュージアム」全面リニューアル		5月	厚生労働省の次世代認定マーク「くるみん」を取得 ロータリーエンジン車発売40周年を迎える
	4月	広島大学大学院工学研究科と自動車の先進技術の研究協力で契約 新生宇品第1工場塗装ライン稼働		7月	国内生産累計4,000万台を達成 AATが生産累計100万台を達成 業界初となる、V型6気筒エンジンと直列4気筒エンジンの混流生産を実現 専用コンテナでの鉄道往復輸送によるグリーン物流システムを構築
	5月	マツダ地球環境憲章を改訂し、環境への取り組みをグループでの強化へ拡大		10月	「Mazda2」を長安フォードマツダ南京工場で生産開始
	6月	中国事業を統括する「マツダ（中国上海）管理諮詢有限公司（MCO）」の開所式を実施			
	8月	統括会社「マツダサウスイーストアジア リミテッド（MSEA）」をタイに設立 中国技術支援センターを開設			

## 商品

2003年	2月	摩擦熱を利用したアルミ材接合技術を世界で初めて開発	2006年	2月	水素ロータリーエンジン車「RX-8/ハイドロジェンRE」の限定リリース販売を開始
	4月	優れた歩行者保護性能を持つ衝撃吸収構造アルミボンネットを開発		5月	産学官の連携で、自動車内装部品用に高強度、高耐熱性を持つバイオプラスチックを開発
	5月	PM排出量を現行比で75%以上削減するディーゼルエンジン用の排出ガス低減技術を開発		11月	「MPV」2.3L DISIターボエンジン車がエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）を受賞
	6月	「RENESIS」が「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー2003」を受賞		12月	「CX-7」新発売
	9月	塗膜除去率が99.9%まで高めるバンパーリサイクルのための新技術を開発し、「バンパーtoバンパー」リサイクルを実現	2007年	6月	マツダ、広島地区におけるITS公道実証実験に参加
	10月	「アクセラ」新発売		9月	植物由来100%の繊維からなる自動車内装用バイオファブリックを開発
	11月	「RENESIS」が「RJCテクノロジー・オブ・ザ・イヤー」を受賞 「RX-8」が「2004RJCカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞		10月	世界初となるシングルナノテクノロジーを活用した触媒材料構造を持つ自動車用触媒を開発
	12月	「Mazda6」が中国の「2004年カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞		11月	3代目「デミオ」が「2008年次RJCカーオブザイヤー」を受賞 ノルウェー国家プロジェクトHyNor（ハイノール）に参画し、2008年夏から水素ロータリーエンジン車をノルウェーに納入
2004年	5月	「RENESIS」が「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー2.5〜3.0リットル」部門賞を2年連続で受賞			
	6月	「ベリーサ」新発売			
	10月	RX-8水素ロータリーエンジン車の公道走行を開始			
	11月	マツダのスリー・ウエット・オン塗装技術が地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞			
2005年	3月	「バンパーtoバンパー」リサイクル技術をRX-8から新車のバンパーに導入開始			
	4月	新生宇品第1工場塗装ラインにスリー・ウエット・オン塗装方式を採用			
	6月	世界初、摩擦熱を利用した鉄とアルミ材の点接合技術を開発			
	7月	新開発した下塗り塗料により、塗装工程における環境負荷をさらに低減			
	11月	3代目「ロードスター」が「2005-2006日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞			

2008年	2月	日本初の「人権擁護功労賞」受賞	2010年	3月	トヨタとハイブリッドシステムの技術ライセンス供与に合意		
	3月	自動車販売金融事業における戦略的提携を実施		4月	広島大学とマツダ財団の連携事業「科学わくわくプロジェクト」が、「平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞」を受賞		
	4月	国内販売会社に環境マネジメントシステム「エコアクション21」を導入		2011年	9月	「ひろしまの森林（もり）づくりフォーラム」に加入し、「マツダの森」を通じた地域の森林保全活動に協力開始	
	6月	ブランドを視覚的に表現するグローバル・ビジュアル・アイデンティティを導入 CO <sub>2</sub> 排出量削減に向けた取り組みを発表 ー2015年までにグローバルでマツダ車の燃費を30%向上ー			1月	日産とマツダ、新たなOEM供給契約を締結	
	7月	全国規模の部品販売会社、マツダパーツ株式会社を設立			2月	広島大学と包括的連携に関する協定を締結	
	9月	シベリア鉄道を利用した車両輸送を開始			6月	住友商事とメキシコでの生産事業およびブラジルでの販売事業で合併事業に合意 社外取締役制度を導入	
	10月	マツダミュージアム来場者100万人達成					
	11月	山内孝社長兼CEO就任					
	12月	新広島市民球場の命名権契約を締結し、「Mazda Zoom-Zoom スタジアム広島」と命名					
	2009年	3月			「マツダ（中国）トレーニングセンター」を北京、上海、深センに開設		
		4月			一汽マツダ汽車販売有限公司に増資し、出資比率を25%から40%に引き上げ、販売網を強化		
		7月			AAT新乗用車工場完成		
2008年	1月	「CX-9」が「2008 North American Truck of the Year」を受賞 広島地区の産学官共同でITS公道実証実験を実施 国内初のリアビークルモニタリングシステムを実用化	2009年	1月	貴金属の使用量を約70%削減できるシングルナノ触媒を世界で初めて実用化		
	3月	3代目「Mazda2」が「2008世界カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞 先進安全自動車「マツダASV-4」の公道走行試験を開始		2月	マツダ、ITS合同実証実験「ITS-Safety 2010」に参加		
	6月	食糧と競合しないバイオプラスチックの技術開発に、産学官連携で2013年までの実用化を目指して着手 「マツダ プレマシー ハイドロジェンREハイブリッド」の国土交通大臣認定を取得		3月	世界初の廃車バンパーリサイクル自動化技術を開発 日本メーカー初の乗用車用尿素SCRシステムを開発 世界初のハイブリッドシステム搭載水素ロータリーエンジン車「マツダ プレマシー ハイドロジェンREハイブリッド」のリース販売を開始		
	7月	「ビアンテ」新発売		6月	世界で最も環境負荷の少ない新水性塗装技術「アクアテック塗装」を開発、宇品第一工場への導入を開始		
	9月	直噴エンジンの技術を活用した独自のアイドリングストップ機構「アイ・ストップ（i-stop）」を開発 出力性能と環境性能を大幅に向上させた新型クリーンディーゼルエンジンを開発 樹脂の使用量を30%削減できるプラスチック成形技術を開発		11月	「i-stop」が「2010年次RJCテクノロジーオブザイヤー」を受賞 「i-stop」を搭載した「アクセラ」と「ビアンテ」が第6回エコプロダクツ大賞を受賞 マツダ、「つくば環境スタイル実証プロジェクト」に参画し、電気自動車のベース車両として「マツダ デミオ」を提供		
				2010年	9月	「動き」を表現した新デザインテーマ“魂動（こどう）ーSoul of Motion”を発表 「アテンザ」、世界累計生産200万台を達成	
					10月	次世代技術「SKYACTIV」を発表	
				2011年	2月	「ロードスター」が累計生産90万台を達成、ギネス記録更新を申請	
					5月	「アクセラ」が世界累計生産300万台を達成	
				6月	高効率直噴ガソリンエンジン「SKYACTIV-G 1.3」を搭載した「デミオ」を発売		

# 製品一覧

## 乗用車

●は海外販売専用車種です。それ以外は、国内仕様となります。

デミオ／Mazda2 5ドアハッチバック



3ドアハッチバック ●



セダン ●



アクセラ／Mazda3 5ドアハッチバック



セダン



ベリーサ



アテンザ／Mazda6 セダン



5ドアハッチバック



ワゴン



ブレマシー／Mazda5



MPV／Mazda8



ビアンテ



## スポーツ

RX-8／Mazda RX-8



ロードスター／Mazda MX-5



## SUV・ピックアップ ●は海外販売専用車種です。それ以外は、国内仕様となります。

CX-7/Mazda CX-7



CX-9/Mazda CX-9 ●



Mazda Tribute ●



Mazda BT-50 ●



## 軽乗用車

キャロル



AZ-ワゴン



スクラムワゴン



AZ-オフロード



## 商用車

ボンゴバン



ボンゴトラック



タイタン



ファミリアバン



スクラムバン



スクラムトラック



## 福祉車両

助手席リフトアップシート車

プレマシー(その他車種: MPV・ピアンテ)



セカンドリフトアップシート車

MPV(その他車種: ピアンテ)



スロープ式車いす移動車

AZ-ワゴン i



オートステップ車

ピアンテ(その他車種: MPV)



## ■最新情報について

「会社の概況」および「役員」に関する情報に変更があった場合、最新の情報を下記URLのホームページにて掲載します。

<http://www.mazda.co.jp/corporate/profile/outline/library.html>

## ■マツダ株式会社のその他の情報開示ツール

会社概況に加えて、以下のツールでもマツダの考え方、活動、データの情報開示をしています。

### サステナビリティレポート2011※

マツダのCSR（企業の社会的責任）についての報告書

<http://www.mazda.co.jp/csr/download/>

### アニュアルレポート2011※

マツダの投資家向け年次報告書

<http://www.mazda.co.jp/corporate/investors/library/annual/>

### 有価証券報告書 2011年3月期

[http://www.mazda.co.jp/corporate/investors/library/s\\_report/](http://www.mazda.co.jp/corporate/investors/library/s_report/)

※8月末に発行予定です。

# マツダ株式会社

発 行：マツダ株式会社 広報本部

広島本社：広島県安芸郡府中町新地3-1 〒730-8670

東京本社：東京都千代田区内幸町1-1-7 〒100-0011

発行年月：2011年8月

## マツダコールセンター 0120-386-919

受付時間／月～金 9:00～17:00

土日・祝日 9:00～17:00（12:00～13:00を除く）

## マツダホームページURL

<http://www.mazda.co.jp/>



zoom-zoom  
zoom-zoom  
zoom-zoom